

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 益子養護学校管理特別普通 教室棟その他新築工事地質調査 孔番 No. NO. 1 地盤高 +0.140 m

調査場所 _____ (基準面 仮BM±0)

地形 _____ 摘要

調査期間 昭和 55年 3 月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-3.40m 調査担当者 _____

標地下水 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		標準貫入試験							
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号	採取深度 (m)	原 位 試 験 深 度 (m)	打 撃 回 数					
										0	10	20	30	40	50	60	70
	0.70	0.70		表 土	暗灰		有機物混る。										
	1.1			ローム	茶褐色		関東ローム	1	1	1.1.1	1.15	3					
	2.30	1.60		鹿沼土	黄褐色	柔かい		2	2	1.1.2	2.15	4					
	3.25	0.25		ローム	黄褐色		粘土質			1.2	3.15	3					
	3.60	0.35		砂質ローム	黄褐色		砂混入多い処あり。	3	3	1.1.1	4.15	3					
	4.65	1.05		ローム	茶褐色	柔かい	粘土質ローム 粘性強い。 有機物混る。 鹿沼土少量混る。 下部砂質。	4	4	1.1	5.15	2					
	7.20	2.55		細 砂	褐色	中位	粘土質細砂	5	5	1.1.4	7.15	6					
	7.70	0.50		砂質粘土	茶褐色	中位	粘性大、シルト粘土。	6	6	2.2.2	8.15	6					
	8.60	0.90		砂 礫	青灰色	非常に密な	礫径 10~30mm 多い。 最大径 100mm 内外を有す。 所々砂分多い 処あり。	7	7	12.22 ¹⁶ ₅	9.15	50					
				砂 質 上	青灰色	堅い	若干有機物混る。粘性あり 固結状	8	8	25.25 ²⁵ ₉	10.15	50					
	12.50	3.90		粘 土 質 中 砂	青灰色		砂質粘土・中砂互層状	9	9	27.23 ²³ ₃	11.15	50					
	14.35	1.85						10	10	28.22 ²² ₈	12.15	50					
	15.65									4.4	13.15	15					
										72.8.7	13.45	15					
										5.7	14.15	23					
										11.9.11	14.45	23					
										6.11.21	15.15	38					
										15.45	15.45	38					

益子町字向北原

調査No. 2

調査No. 1

(仮称) 益子養護学校新築工事地質調査位置図

◎ボーリング地点 S = 1:500

